

はじめに

わが国では、他に例を見ないほど急速に高齢化が進んでおり、平成27年には4人に1人が65歳以上の高齢者となる高齢社会を迎えます。

江別市におきましても、昨年4月にスタートしました「第5次江別市総合計画」で、10年後の平成25年には高齢化率22.8%と推計しており、国と同じように概ね4人に1人が高齢者となる高齢社会を迎えることとなります。

また、障がい者が障がいを持たない人と同じように生活し活動する社会を目指す「ノーマライゼーション」の理念も浸透してきており、高齢者や障がいを持った方々が自立した日常生活や社会生活を営むことができる環境を整備することが求められています。このような背景にあることから、この度、誰もが安心して安全に移動できるよう旅客施設や道路等のバリアフリー化を重点的・一体的に推進するための指針として「江別市交通バリアフリー基本構想」を策定しました。

この基本構想では、「わかりやすさ」「のりやすさ」「あるきやすさ」を基本理念に、高齢者や障がいを持った方をはじめ全ての方々が、公共交通機関等を利用して、安心して安全に移動できるようユニバーサルデザインの視点に立って整備を進めるとともに、困った方を見かけたら声をかけたり、手を差し出したりといった小さなお手伝いやお互いに支え合うといった「こころのバリアフリー」の推進につきましても重点をおいています。

今後は、基本構想に基づき、公共交通事業者、道路管理者、公安委員会等関係機関と連携を図るとともに、市民の皆様のご意見を伺いながら、市民の皆様が安心して公共交通機関等を利用して移動できるよう整備して参りたいと考えていますので、皆様のご協力を賜りたいと存じます。

最後に、策定にあたりましてご尽力いただきました「江別市交通バリアフリー基本構想策定委員会」及び「江別市交通バリアフリー基本構想策定研究会」委員の皆様をはじめ、アンケート、ヒヤリング、フィールドチェック等にご参加・ご協力をいただきました多くの皆様に、心からお礼を申し上げます。

平成17年10月

江別市長 川川 公人

